

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社第一興商（証券コード: 7458）

### 【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A

### ■格付事由

- (1) 業務用カラオケ機器「DAM」シリーズの販売、賃貸、通信カラオケの音源および映像の提供のほか、カラオケルーム「ビッグエコー」や和・洋の個室ダイニングおよびアイリッシュパブなどの飲食店舗を展開している。また、音楽・映像ソフトの制作および販売、BGM放送なども手掛けている。17年6月には首都圏を中心に「カラオケマック」を40店舗展開する Airside を子会社化した。
- (2) 業務用カラオケ市場は比較的安定しており、スナック、居酒屋などのナイト市場の縮小はあるものの、エルダー市場が拡大している。このような中、当社の業務用カラオケ事業では、ストック型の機器賃貸料収入や情報提供料収入（楽曲配信による収入）が伸長し、収益基盤は強固である。カラオケ・飲食店舗事業では、人件費の上昇やカラオケボックス市場の競争激化はあるものの、新規出店や Airside の子会社化により事業規模は拡大している。これらを背景に、今後も業績は底堅く推移するとみられる。財務構成は良好である。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 19/3期の会社計画は売上高1,425億円（前期比0.8%増）、営業利益212億円（同0.5%増）である。業務用カラオケ事業では機器賃貸件数が拡大し、カラオケ・飲食店舗事業では既存店の効率的な運営などにより人件費の上昇を吸収していることがその背景にある。今後の利益拡大に向けて、業務用カラオケ事業では、成長が期待できるエルダー市場での導入拡大がポイントになるとみている。カラオケ・飲食店舗事業では、新規出店や既存店舗の活性化に加え、人件費の上昇が予想される中で効率的な店舗運営を更に進めることも必要と考える。
- (4) 19/3期第2四半期末の自己資本比率が70.0%（18/3期末68.7%）であるなど、財務内容は良好であり、ネットキャッシュポジションを維持している。今後も賃貸機器への投資や店舗関連の投資が見込まれるものの、安定したキャッシュフロー創出力を背景に、引き続き健全な財務構成を維持するだろう。

（担当）千種 裕之・山田 雄一

### ■格付対象

発行体：株式会社第一興商

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	65億円	2012年7月30日	2019年7月30日	0.806%	A

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年11月19日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之  
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社第一興商
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル